【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公表番号】特表2013-525683(P2013-525683A)
【公表日】平成25年6月20日(2013.6.20)
【年通号数】公開・登録公報2013-032
【出願番号】特願2013-506741(P2013-506741)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｃ　18/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｃ　18/02　　３１１Ｂ
Ｆ０４Ｃ　18/02　　３１１Ｅ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成27年4月8日(2015.4.8)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１１】
カウンターウェイト４４は、周回スクロール２０、第２のベアリング３６、及びドライブシャフトの偏心シャフト部１６を含むポンプの周回構成要素の重量バランスをとる。周回スクロール２０は周回構成要素の大部分の重さを占め、その質量中心は周回スクロールのスクロールプレートの比較的近くにある。キャップ４６は、周回スクロールの隆起台座４８に固定され、カウンターウェイト及びベアリング３４、３６を含み、一般には大気である又は大気に近い低真空領域を高真空領域３０からシールする。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポンプハウジングと、同心シャフト部及び周回スクロールに結合される偏心シャフト部を有するドライブシャフトとを備えるスクロールポンプであって、
前記シャフトは、使用時にシャフトの回転が固定スクロールに対する周回スクロールの周回運動を与えて、前記スクロールポンプのポンプ入口とポンプ出口との間の流体流路に沿って流体をポンプ送給するようにモータによって駆動されるように構成され、前記固定スクロールは、前記シャフトが貫通して延びて前記固定スクロールの前記モータに対して反対側で前記周回スクロールに結合される開口と、前記周回スクロールに固定され、前記スクロール構成要素の入口側に位置づけられた高真空領域と、概して前記スクロール構成要素の出口側に位置づけられた低真空領域との間をシールするキャップとを備え、
無潤滑油の回転防止装置は、周回スクロールの回転を阻止すると共に前記周回運動を可能にするように前記スクロール構成要素の周回スクロール側の前記高真空領域に配置され、同心シャフト部及び偏心シャフト部を回転支持するベアリング構成要素は、前記低真空領域に配置されており、
回転防止装置は、２つの対向するアーム対が延びる中央本体部を備え、第１の対は前記ハウジングに結合され、第２の対は前記周回スクロールに結合され、前記第１の対は可撓

性があり前記ハウジングに対する前記周回スクロールの第１の方向の動きを可能にし、前記第２の対は可撓性があり前記ハウジングに対する前記周回スクロールの前記第１の方向に略直交する第２の方向の動きを可能にすることを特徴とするスクロールポンプ。

【請求項２】

前記ポンプの前記周回構成要素の重量バランスをとるためのカウンターウェイトを備え、前記カウンターウェイトは、前記低真空領域であって前記周回スクロールのスクロールプレートに隣接して配置される、請求項１に記載のスクロールポンプ。

【請求項３】

前記回転防止装置は、可撓性のあるプラスチック材料からできている、請求項２に記載のスクロールポンプ。